

令和4年9月9日

関係各位

北海道大学大学院理学研究院数学部門
令和4年度部門長 朝倉 政典
(公印省略)

北海道大学大学院理学研究院数学部門教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび当部門では下記の要領により教員の公募を行うこととなりました。つきましては、ご多忙中のところまことに恐縮に存じますが、貴関係者各位への周知方ならびに、適任者のご推薦につきまして、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

謹白

記

- | | |
|--------------|---|
| 1. 募集人員 | 准教授 1名 |
| 2. 所 属 | 大学院理学研究院数学部門 |
| 3. 採用予定日 | 令和5年4月1日以降出来るだけ早い時期 |
| 4. 専門分野 | 幾何学およびその関連分野 |
| 5. 職務内容 | 大学院理学院及び理学部（全学教育を含む）に係る教育研究に従事するとともに、大学院理学研究院、理学院及び理学部等の組織運営に参画する。 |
| 6. 応募資格 | 博士の学位を有し、教育・研究に情熱を持っている方
講義担当及び管理運営のための日本語能力があること |
| 7. 任期 | 期間の定めなし |
| 8. 試用期間 | あり（3ヶ月） |
| 9. 給与 | 国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による |
| 10. 勤務形態 | 専門業務型裁量労働制を適用
※1日に7時間45分労働したものとみなす |
| 11. 健康保険等 | 文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入 |
| 12. 受動喫煙防止措置 | 特定屋外喫煙場所を除き、敷地内禁煙 |
| 13. 募集者の名称 | 国立大学法人北海道大学 |
| 14. 提出書類 | <p>(1) 履歴書（写真貼付、また確実に連絡がとれる連絡先を明記すること。）
※平成25年4月1日以降、北海道大学に在職経験（非常勤講師、TA、TF、RA、短期支援員等すべての職種を含む。）のある者は、当該職歴を漏れなく記載すること。</p> <p>(2) 研究業績リスト（論文は査読付き論文とそうでない論文とを明記すること。
印刷中、投稿中の場合はそのことを明記すること。印刷中のものについては、アクセプトされたことを示す書類を添付すること。）</p> <p>(3) 研究業績の説明及び将来の研究計画</p> <p>(4) 教育・研究指導及び管理運営に関する経験と抱負</p> <p>(5) 応募者の業績について問い合わせることのできる方3名のリスト
〔氏名・連絡先（所属、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス等）〕</p> <p>(6) 主な論文（5編以内）の別刷（コピー可）等</p> |
| 15. 応募期限 | <u>令和4年11月18日（金）必着</u> |

16. 書類提出方法

次の【1】、【2】いずれかの方法でご提出ください：

【1】上記【14. 提出書類】のうち(1)から(5)までをこの順に一つにまとめたPDFファイルと、(6)主な論文のPDFファイルをEメールに添付し送付

- ・件名を「数学部門准教授応募書類在中（幾何学分野）」としてください。
- ・提出先Eメールアドレス：shunin@math.sci.hokudai.ac.jp
- ・Eメール着信後、受信した旨返信致します。1週間以上経過しても受領返信がない場合はお手数ですがEメールにてお問い合わせください。

【2】簡易書留あるいは書留にて送付

- ・封筒に「数学部門准教授応募書類在中（幾何学分野）」と朱記してください。
- ・提出書類は紙に印刷したもの、もしくは、【1】の要領で準備された提出書類のPDFファイルをDVDあるいはUSBメモリに入れたもの、どちらかを同封してください。
- ・郵送時の宛先：〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院理学研究院数学部門 人事委員会宛

※ 提出書類（DVD、USBメモリなど記憶媒体も含む）は原則として返却しません。

※ 複数回に分けての提出や、上記【1】、【2】の併用はしないでください。

※ 提出書類に含まれる個人情報は、選考目的以外に使用いたしません。

17. 問い合せ先

北海道大学大学院理学研究院数学部門

令和4年度部門長 朝倉 政典

e-mail shunin@math.sci.hokudai.ac.jp

18. その他

(1)選考の過程で面接を行うことがあります。

(2)当部門のホームページ <https://www2.sci.hokudai.ac.jp/dept/math/>

(3)北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の推進、男女共同参画推進に努めており、女性の積極的な応募を歓迎します。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備に努めています。

以上